

# ◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「草津」		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,919,842円		20,220,446円	行事の変更やコロナ対策で急に購入することになった物品など変更が多かったが、コロナ対策費などを活用し経理を行うことができた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施等保護者の意向も取り上げ、満足度の高いものにしていく。
施設HPアドレス	<a href="https://minnanoie.roukyou.gr.jp">https://minnanoie.roukyou.gr.jp</a>		2年目					
指定管理者名	労協センター事業団草津地域福祉事業所みんなの家		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆ 評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
施設の供用開始日	平成9年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

## ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
<b>令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</b>		<b>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</b>	
ひとりひとりが違う人格だという認識、人権を尊重する(命を大切に) 子どもの学ぶ権利を保障し、成長に価値を置く 保護者が子どもの姿を見て安心して仕事ができる保育をする 支援員の質の向上(学びの場、研修)に努める。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
<b>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</b>		<b>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</b>	
コロナ対応もあり子どもも支援員もマスクや消毒、接触などといった今までは許されてきたことが出来なくなり目の前の状況に追われ余裕を持った保育を行うことが難しかった。遠足や交流会、保護者行事など中止の行事が続いたが、子どもたちだけの行事だけでもと行い、難しい中でも子どもたちが楽しめる保育づくりができた。ほとんどが低学年で集団遊びを行うことが難しく思えたが、アンケートの要望にもあったみんな遊びは揉めながらも上の学年の子達が頑張ってくれ楽しく遊ぶことが出来た。怪我については病院に行くような大怪我は起きてはいないが日々の小さな怪我は保護者に直接、または電話で伝え安心してもらえるように努めた。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。  (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行うことが出来た。入所状況については定員に対して1割増の弾力運用により受け入れを行った。研修に関しては市が行うものに参加した。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。1日4～6人で保育。常勤2名。補助員含め5人は勤務するようにされている。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	基準に沿った職員配置を行うことが出来た。入所状況については定員に対して1割増の弾力運用により受け入れを行った。研修に関しては市が行うものに参加した。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。研修にも参加し、支援員等の資質向上に努められた。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただけた。
	☆☆☆		☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	密防止を考慮した上で季節に合った行事を実施し保育内容の充実に努めた。個人情報を含む書類等は鍵付きロッカーで管理を徹底した。	上半期評価	時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。DVD鑑賞や外遊びなど、飽きがないよう、密にならないよう注意して保育が行われた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	密防止を考慮した上で季節に合った行事を実施し保育内容の充実に努めた。また保護者アンケートでみんな遊びをしてほしいとの要望があったので実施した。個人情報を含む書類等は鍵付きロッカーで管理を徹底した。	下半期評価	時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。児童目線で危険がないか考え、保育の充実に努められた。保護者の意見も汲み取って保育を実施されている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりや張り紙、ショートメールなどで家庭への連絡を行った。また必要に応じておたよりの郵送や電話連絡、個人面談を行った。	上半期評価	概ね保護者との情報交換は行われていた。おたよりやショートメールなどで保護者とのコミュニケーションを図られている。児童に何かある場合は、お迎え時、あるいは電話で保護者に伝えられている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりや張り紙、ショートメールなどで家庭への連絡を行った。また必要に応じて電話連絡や個人面談を行った。また学年末には個別懇談を行った。11月に行ったアンケートの結果を支援員で確認し反映できるところについては検討した。	下半期評価	先に1ヶ月の予定聞き取るようにして、出欠の管理を工夫されていた。また、お迎え時に児童の様子を伝えるようにされており、連絡帳でも情報共有されていた。
	☆☆☆		☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	日常点検、日々の清掃を行った。また生活の中で危険な箇所等について支援員だけでなく子どもたちにも周知し安全管理に努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	日常点検、日々の清掃、消防点検を行った。また生活の中で危険な箇所等について支援員だけでなく子どもたちにも周知し安全管理に努めた。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。
	☆☆☆		☆☆☆	